

豊島区から
取り寄せ♪

知ると便利な
本の取り寄せサービス

大学生活の「居場所」としての図書館

図書館長 鈴木亘 教授

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！新しい友人や先生との出会い、専門の学習、部活動やサークル、アルバイト、留学など、様々な大学生活のシーンを思い描いていることと思います。

その大学生活の1シーンに間違いなくあるのが、大学図書館で勉強をする姿でしょう。高校までの図書館とは異なり、大学図書館はただ単に本を置いてある場所ではありません。静かな環境で、授業の予習復習や宿題、試験勉強を行える「居場所」でもあります。レポートを書くにあたって、どのような本や論文が役に立つか、データベースはどのように検索すればよいか、関連する統計情報をどこでどのように収集するか、様々なことを図書館のスタッフに気軽に相談することもできます。また、学生同士で集まって勉強会を開催したり、友達同士で教えあうような場所も用意されています。まさに、大学生活のホームグラウンドとして活用できる居場所なのです。大学に来たら、まずはぶらりと図書館に来て、今日1日の計画を思い描く。授業の合間合間に立ち寄り、授業後はお気に入りの席でたっぷり勉強する。息抜きに、新刊書や新刊雑誌を手取るのも楽しいでしょう。様々な出会いや発見に満ちた図書館ライフが待っています。

使い方のヒント!

学習院大学の本だけでなく、学外の図書館の本も利用できること、知っていますか？
学外から本を取り寄せて、学習院大学図書館カウンターで借りたり返したりすることができます

レポートに必要なから明日には借りたい。

今は月曜の昼12時...

「学外書庫」「女子大学図書館」両方に使いたい本があった



「学外書庫」の本を取り寄せした方が早く（明日には）借りられる!

参照



東1号館建て替え(含:新図書館)に伴い、大学図書館の資料の多くが学外の書庫にあります。これら学外庫の資料は、新図書館が開館となる2023年4月までの預け入れとなる予定ですが、取り寄せて利用ができます。

好きな作家の小説をたくさん読みたい

趣味が料理だから、料理本も借りたい



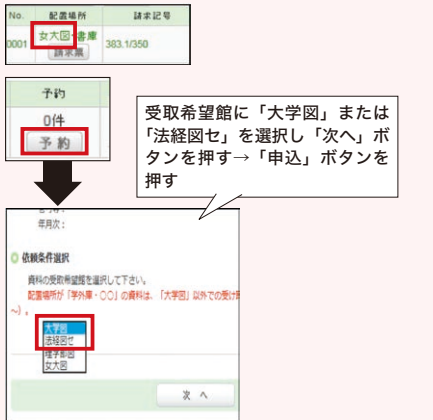

大学図書館にはあまりそういった類の本はないなあ...

豊島区立図書館から取り寄せれば、大学図書館で受け取って貸出もできるし、返却も大学図書館でできる!

DUM



豊島区立図書館には、小説などの読み物や料理本などの実用書がたくさんあります。

	学外書庫	女子大学図書館	豊島区立図書館	他大学の図書館
取り寄せ費用	無料	無料	無料	有料 (片道の郵送料)
取り寄せ定期便の頻度 ※祝日や休館日には原則、定期便の運行はありません	月～金の毎日	月/水/金 (夏季休暇期間中は水のみ) ※取り寄せ便の運行カレンダーをWebサイトで公開しています	水/金	定期便なし (都度、郵便または宅急便で他大学から取り寄せ)
取り寄せできる資料	図書、雑誌 (禁帯出のもの含む)	図書	図書、雑誌 (マンガは不可)	図書
資料の特徴	学術書	学術書、ベストセラー、英語多読本	小説などの読み物、ヤングアダルト本、実用書	学術書
取り寄せ申込場所(方法)	GLIM/OPACで検索、申込 →配置場所が「学外庫・書庫」 	GLIM/OPACで検索、申込 →配置場所が「女大図」 	大学図書館1階カウンターに申込 (豊島区立図書館のOPACで資料を検索し、取り寄せを希望する資料の検索結果を印刷して、1階カウンターにお持ちください)	大学図書館2階レファレンス・カウンターに申込 (大学院生はGLIM/OPACから申込可)
取り寄せた資料の貸出/返却場所	貸出: 大学図書館1階カウンター 返却: 大学図書館 / 法経図書センター / 理学部図書室 / 女子大学図書館	貸出: 大学図書館1階カウンター / 法経図書センター 返却: 大学図書館 / 法経図書センター / 理学部図書室 / 女子大学図書館	貸出・返却: 大学図書館1階カウンター	貸出不可(館内閲覧のみ): 館内閲覧受付は大学図書館1階カウンター
貸出期間	大学図書館・書庫の貸出期間と同様 	女子大学図書館の各貸出期間と同様 	2週間 (貸出更新不可)	館内閲覧期間 1週間～2週間

華族会館寄贈資料が Web から見られます！

大学図書館の貴重なコレクションのひとつに、学習院創立時に華族会館から寄贈された華族会館寄贈資料があります。これらの資料は明治時代に華族学校（現在の学習院）の教育・学習で使用された資料価値の高いものになります。この度、平成 26 年度から 6 ヶ年に亘り、



一般社団法人霞会館からご支援をいただいていた同資料のデジタル化が完了しました。デジタル化した画像は Web 上の「学習院大学デジタルライブラリー」で公開しています。鮮明な画像で公開されていますので、是非ご覧ください。



学習院大学デジタルライブラリー
<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



電子書籍と印刷本

計算機センター 教授
横山 悦郎 先生

15 世紀に活版印刷術が発明されて現在に至るまで、膨大な数の本が出版されてきました。そして出版の世界に電子書籍の巨大な波が押し寄せてきているのは、皆さんもご存じの通りです。科学の学術雑誌はすでに完全に電子化されており、読みたい契約記事はダウンロードできます。

学生時代から私も一般書や専門書、そして漫画と様々な種類の本を購入してきました。それらの多くは電子化されておらず、廃版になったものもあります。いまでも吝嗇な私の本棚の奥にあり、時として役立っています。

20 年以上も前に電子書籍の先駆けとして S 社の電子ブックを買いました。しかし、いまでは廃番となっています。本棚をまるまる持って歩ける電子書籍の便利さに疑いの余地はありません。一方、端末の急速な進歩の影響から、どれくらい時代に耐えることができるかは大きな問題です。



さて「わたしの本棚」、研究室のそれは単調に冊数が増加し乱雑になっていきます。自宅の本棚はさほど変化なく、サンテグジュペリ全集 12 巻や、漫画では山止たつひこ（秋本治）の「こち亀（略称）」があります。印刷された本では、いつでも読むことができるだけでなく、時とともに価値が上がる本があるのは面白いですね (^_^)。



来ぶらり No.112 2020年 4月1日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：鈴木巨教授 編集委員：内藤沙織・藤本智美

1階貸出・返却カウンター（内線 2397）：☎ 03-5992-1009（直通） 2階レファレンスカウンター（内線 2395・2396）：☎ 03-5992-9249（直通）

「来ぶらり」のバックナンバーは（<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>）で公開しています。

ISSN 2186-6724